

編集後記

○成寿四十九巻お届け致します。
○昨年善光寺は開創五十年を迎え、十一月二十八日に記念式典を行うことが出来ました。これもご縁を賜りお支え頂いた多くの皆様のおかげと心より御礼申し上げます。今巻はその記念式典を特集するため春季号でのお届けとなりました。
○記念式典では世界遺産京都清水寺ご住職森清範貫主による記念法話。毎年暮れに話題となる「今年の漢字」を清水の舞台で大きく揮毫されているあのご住職です。漢字をはじめとする文字、言葉について深い造詣の一端をご披露頂きました。『言葉(ことたま)』といい、言葉には魂が宿る。だからこそ日頃から良い言葉を用いることの大切さを学びました。ユーモア溢れるお話でアツという間の一時間でした。貫主様曰く「皆さんの法を聞く姿勢が素晴らしく時間をオーバーしてしまいました」

た」。説く者も説かれる者も共に聞法の悦びを味わえました。
○五十年、半世紀です。時の長さを感じます。移りゆく時の流れ、時代の波の中で変わらずに善光寺をお支え頂いている皆様と共に慶びを分かち合うことが出来ました。報恩諷經導師をお務め頂いた新美方丈様。本寺様はじめご随喜賜りました御寺院様。遠方より足をお運び下さいました開基家ナリス化粧品社長村岡弘義様。地元日野石材工業協同組合の皆様。総代、世話人の皆様はじめ多くの檀信徒の皆様方。設営等ご尽力頂いた(株)板橋様。当日はお越し頂けず目に見えない形でもご支援くださった多くの皆様。その他全てのご縁に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ごぞいまして。式典には先代方丈様も映像で参加。笑顔でご挨拶をして下さいました。更に五十年、百年と皆様に喜ばれるお寺を目指して歩んで参ります。
○昨年はラグビーのワールドカップで日本中が盛り上がりました。今年

は東京オリンピックで更に盛り上がることでしよう。平和の祭典を楽しめる日常に感謝。

○お寺では一斉のご法要の他にも毎月の催事、旅行会や青年会など様々な活動を行っております。どうぞ思い切つて足をお運び頂き、仏さまのご縁を結んで下さい。お待ちしております。

○平成から令和へと時代が移っても善光寺は「ONE TEAM」これからも精進して参ります。ご指導、ご支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。

成寿 第四十九巻

令和二年二月十五日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野中央一丁目

十二番九号

電話 〇四五(八四五)一三七一

FAX 〇四五(八四六)二〇〇〇

印刷所 (株)中外日報社